東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教　科：　国語　　科　目：　論理国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　6 学年　A 組～　D 組

使用教科書：（　筑摩書房『論国710　論理国語』　）

教科　国語　の目標：

【知識及び技能】　生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】　言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　論理国語　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	伝えるということ 「桜が創った日本」佐藤俊樹 「物語るという欲望」内田樹 「本当は怖い『前提』の話」川添愛 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫する。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	○指導事項 ・立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫する。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握する。 ○教材　教科書、最新国語便覧 ○一人１台端末の活用　必要に応じて端末を利用して意見共有などを行う。		○	○	【知識及び技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	9
	定期考査						○	○		1
	価値観の転換 「沖縄戦を聞く」岸政彦 「人新世における人間」吉川浩満 「日本の社会は農業社会か」網野善彦 「『である』ことと『する』こと」丸山眞男 【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にする。 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	○指導事項 ・多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にする。 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ○教材　教科書、最新国語便覧 ○一人１台端末の活用　必要に応じて端末を利用して意見共有などを行う。		○	○	【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にする。 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	17
	定期考査						○	○		1

2学期	広い視野に立って 「貧困は自己責任なのか」湯浅誠 「男の絆、女たちの沈黙」尹雄大 「権力とは何か」杉田敦 【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章にする。 ・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点から異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	○指導事項 ・個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章にする。 ・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点から異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める。 ○教材　教科書、最新国語便覧 ○一人１台端末の活用　必要に応じて端末を利用して意見共有などを行う。		○	○	【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章にしている。 ・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点から異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	11
	定期考査						○	○		1
	社会の中で生きる 「ぼくらの民主主義なんだぜ」高橋源一郎 「死の恐怖について」エリザベス・キューブラー＝ロス 「ポピュリズムとは何か」森本あんり 「ものとこと」木村敏 「戦争と平和についての観察」中井久夫 【知識及び技能】 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直す。 ・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	○指導事項 ・文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直す。 ・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。 ○教材　教科書、最新国語便覧 ○一人１台端末の活用　必要に応じて端末を利用して意見共有などを行う。		○	○	【知識及び技能】 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直している。 ・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	17
	定期考査						○	○		1
3学期	共通テスト指導 個別試験対策指導 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠を揃える。 ・文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	○指導事項 ・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠を揃える。 ・文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉える。 ○教材　各大学の試験問題 ○一人１台端末の活用　添削指導に端末を利用する。		○	○	【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠を揃えている。 ・文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	20
										合計 78

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教　科：　公民　　科　目：　政治・経済　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　6 学年　A　組～　D　組

使用教科書：（　高等学校　政治経済　第１学習社　）

教科　公民　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】社会を築く公民として公共・倫理・政治経済などに関わる幅広い知識・教養を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題を多面的・批判的に思考したり、社会参画を視野に議論する力などを養う。

【学びに向かう力、人間性等】より良い社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目　政治経済　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
政治経済の諸課題に関わる概念や理論を理解し、様々な資料を適切に活用する技能を身につける。	社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方を身につけ、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	より良い社会の実現のために現実社会の諸課題を多面的・多角的に考察し、主体的に解決しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	○民主政治の基本原理と展開 ○基本的人権の保障と日本国憲法	○政治と法の機能、現代民主政治への歩みと基本原理、世界の政治体制の比較 ○日本国憲法の基本原理、基本的人権の規定、新しい人権、人権をめぐる主要な判例、日本国憲法の平和主義	「知識・技能」　左記の指導項目についての知識が身についている。 「思考・判断・表現」　上記の知識を使って思考・表現することができる 「主体的に学習に取り組む態度」　授業、課題に対して積極的にとりくんでいる。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	○日本の政治機構 ○国際社会の成立と変遷	○国会の組織と立法、内閣と行政機構、裁判所の機能と司法制度、地方自治制度と住民の権利、選挙制度の仕組みと課題 ○国際社会と国際法、国際機構の組織・役割と課題	「知識・技能」　左記の指導項目についての知識が身についている。 「思考・判断・表現」　上記の知識を使って思考・表現することができる 「主体的に学習に取り組む態度」　授業、課題に対して積極的にとりくんでいる。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2学期	○国際政治の動向 ○経済社会の発展	○戦後国際政治の展開、国際政治分野の課題 ○資本主義経済の発展と課題、市場経済の機能と限界、財政・金融の仕組みと働き、日本経済の現状と課題	「知識・技能」　左記の指導項目についての知識が身についている。 「思考・判断・表現」　上記の知識を使って思考・表現することができる 「主体的に学習に取り組む態度」　授業、課題に対して積極的にとりくんでいる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	○国際経済の動向 ○国際経済の課題	○貿易と国際収支、為替相場の仕組み・変動要因とその影響、戦後国際経済の動向 ○発展途上国の経済と経済協力、国際経済における日本の役割	「知識・技能」　左記の指導項目についての知識が身についている。 「思考・判断・表現」　上記の知識を使って思考・表現することができる 「主体的に学習に取り組む態度」　授業、課題に対して積極的にとりくんでいる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3学期	個別受験指導	大学入学共通テスト・私立大学受験者に対して、個別指導で問題演習・解説などを行う。					20

東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教　科：　保健体育　　科　目：　体育　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　A 組～　D 組

使用教科書：（ 新高等保健体育 ）

教科　保健体育　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】　各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるように

【思考力、判断力、表現力等】　運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝え

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む

科目　体育　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	**生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。**	**運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。**

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期（前期）	1．選択授業 選択授業は、A、B,C,E,F,Gの種目から、前期から１種目、後期から１種目を選択し、生徒が事前に授業計画を立て、当日に運営をし、次回の授業に繋げる授業である。運動の楽しさや喜びを深く味わうことができる。また、ゲームの中で、仲間と適切な関係を築くことができる。グループの課題解決についての話し合いでは、自らの意思を伝えたり、仲間の意見を聞き入れ、チームの意思決定に参画することができる。 ５月に体力テストを実施			○	○	○	28
	A ソフトボール（男子・女子） 【知識及び技能】 状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ソフトボールに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、合意形成に貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	A ソフトボール（男子・女子） ・キャッチボール ・Tバッティング ・フリーバッティング ・ノック ・試合 ・個人ガードの活用 ・一人１台端末の活用	A ソフトボール（男子・女子） ①身体全体を使ってバットを振りぬくことができる。 ②ボールの高さやコースなどにタイミングを合わせてボールをとらえることができる。 ③守備スペースが空いた方向をねらってボールを打ち返すことができる。 【思考・判断・表現】 ①選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ②体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ②危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。				
	B 硬式テニス（男子・女子） 【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 テニスに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、合意形成に貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	B 硬式テニス（男子・女子） ・基本グリップ ・フォアハンド ・バックハンド ・サービス＆サービスリターン ・ボレー＆スマッシュ ・ロブ＆ドロップ ・試合 ・個人カードの活用 ・一人１台端末の活用	B 硬式テニス（男子・女子） 【知識・技能】 ①サービスでは、ボールに変化をつけて打つことができる。 ②ボールを相手側のコートの守備のいない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返すことができる。 ③ボールに回転をかけて打ち出したり、回転に合わせて返球したりすることができる。 【思考・判断・表現】 ①選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ②体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ②危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。				
	C バレーボール（男子・女子） 【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 バレーボールに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、合意形成に貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	C バレーボール（男子・女子） ・基礎練習 （アンダー、オーバー） ・スパイク練習 ・サーブ練習 ・ミニゲーム ・試合 ・個人カード活用 ・一人１台端末の活用	C バレーボール（男子・女子） 【知識・技能】 ①サービスではボールをねらった場所に打つことができる。 ②攻撃につなげるための次のプレイをしやすい高さと位置にボールを上げることができる。 ③ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすることができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題を発見し、課題解決に有効な練習方法を工夫するとともに、自己の考えを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしている。 ②一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようしている。 ③健康・安全を確保している。				
	D 水泳（男子・女子） 【知識及び技能】 バタフライでは、腕を前方に伸ばし、手のひらが胸の前を通るようなキーホールの形を描くようにして腰や太ももくらいまで大きく動き（ロングアームプル）で進むことができるようにする。また、手の入水時のキック，かき終わりのときのキック及び呼吸動作を一定のリズムで行うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができるようにする。	D 水泳（男子・女子） ・手の動きの練習（呼吸も含む） ・足の動きの練習（呼吸も含む） ・プルとキックのタイミングを合わせた練習（呼吸も含む） ・スタート練習 ・学習カード ・一人１台端末の活用	D 水泳（男子・女子）【知識・技能】 ①腕を前方に伸ばし、手のひらが胸の前を通るようなキーホールの形を描くようにして腰や太ももくらいまで大きく動き（ロングアームプル）で進むことができる。②手の入水時のキック，かき終わりのときのキック及び呼吸動作を一定のリズムで行うことができる。 【思考・判断・表現】 ①バディやグループでの学習で、状況に応じて自己や仲間の役割を提案している。 ②体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに水泳を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ②水泳の事故防止の心得を遵守し、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。				

2学期（後期）	D 水泳（男子・女子） 【知識及び技能】 バタフライでは、腕を前方に伸ばし、手のひらが胸の前を通るようなキーホールの形を描くようにして腰や太ももくらいまで大きく動き（ロングアームプル）で進むことができるようにする。また、手の入水時のキック，かき終わりのときのキック及び呼吸動作を一定のリズムで行うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができるようにする。	D 水泳（男子・女子） ・手の動きの練習（呼吸も含む） ・足の動きの練習（呼吸も含む） ・プルとキックのタイミングを合わせた練習（呼吸も含む） ・スタート練習 ・学習カード ・一人１台端末の活用	D 水泳（男子・女子）【知識・技能】 ①腕を前方に伸ばし、手のひらが胸の前を通るようなキーホールの形を描くようにして腰や太ももくらいまで大きく動き（ロングアームプル）で進むことができる。②手の入水時のキック，かき終わりのときのキック及び呼吸動作を一定のリズムで行うことができる。 【思考・判断・表現】 ①バディやグループでの学習で、状況に応じて自己や仲間の役割を提案している。 ②体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに水泳を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ②水泳の事故防止の心得を遵守し、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。	○	○	○	30
	Eバスケットボール（男子・女子） 【知識及び技能】 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 バスケットボールに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、合意形成に貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	バスケットボール（男子・女子） ・基礎練習 （ハンドリング、ドリブル、ピボット、パス、キャッチ、シュート） ・１対１ ・２対１ ・３対２ ・試合 ・個人カード活用 ・一人１台端末の活用	Eバスケットボール（男子・女子） 【知識・技能】 ①味方が作り出した空間にパスを送ることができる。 ②空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶことができる。 ③守備者とボールの間に自分の体を入れて、味方と相手の動きを見ながらボールをキープすることができる。 【思考・判断・表現】 ①選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ②体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ②危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を				
	B 硬式テニス（男子・女子） 前期同様	前期同様	前期同様				
	F　サッカー（男子） 【知識及び技能】 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 バスケットボールに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、合意形成に貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	F サッカー（男子） ・ボール慣れ（ボールタッチ） ・パス、トラップ練習 ・スクエアパス（カットマン入れて） ・シュート練習 ・セットプレー ・ミニゲーム ・試合 ・学習カード ・一人１台端末の活用	F サッカー（男子） 【知識・技能】 ①味方が作り出した空間にパスを送ることができる。 ②空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶことができる。 ③守備者とボールの間に自分の体を入れて、味方と相手の動きを見ながらボールをキープすることができる。 【思考・判断・表現】 ①選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ②体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ②危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。				
	G 卓球（女子） 【知識及び技能】 基本的な打ち方（フォアハンド・バックハンド）を身につけラリーができるようにする。サーブを身につけ、シングルス、ダブルスの試合ができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 卓球に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、合意形成に貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 H 体育理論	G 卓球（女子） ・ラケットとグリップ ・フォアハンド ・バックハンド ・サービス＆サービスリターン ・スマッシュ ・ドライブ ・試合（シングルス・ダブルス） ・個人カードの活用 ・一人１台端末の活用	G 卓球（女子） 【知識・技能】 ①基本的な打ち方（フォアハンド・バックハンド）ことができる。 ②サービスができる。 ③卓球のルールを理解し、試合（シングルス・ダブルス）ができる。 【思考・判断・表現】 ①選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ②体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ②危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。				
3学期	個別受験指導	・論文、実技等の指導を個別で行う。		○	○	○	20 合計 78

年間授業計画　新様式例

東京都立小石川中等教育学校 令和６年度（６学年用） 教科　外国語　　科目 英語コミュニケーションⅢ

教　科：　外国語　　科　目：　英語コミュニケーションⅢ　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　6 学年　A　組～　D　組

教科担当者：（　A～D組：　　）

使用教科書：（ Crossroads English Communication III（大修館書店）　　）

教科　外国語　　の目標：

【知識及び技能】 外国語の知識を身に付け理解を深めるとともに、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 目的や場面、状況に応じて、情報や考えを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりできるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語に対する理解を深め、主体的、自律的に外国語でコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。

科目　英語コミュニケーションⅢ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、五つの領域の知識を有機的に組み合わせ、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現できるようになる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、間違えることを恐れず、五つの領域の能力を駆使して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話［や］	話［発］	書	評価規準	知	思	態	配当時数
	Unit 1 Crossing Barriers 【異文化理解】 1　さまざまな形で日本に住んでいる外国の人々がどのような問題に直面しているのか理解し，多様性を認める社会の在り方について考えを伝え合うことができる。 2　国や人種で人を判断するのではなく，個性を大切にして生きることについて考え，意見を交換することができる。 ①[L]はっきりとなじみのある発音で話されるまとまりのある長さの，外国人の技能習得を目的とした制度についての発表や多様な背景を持つ日本代表アスリートについての議論を聞いて，その展開や話し手の意図，概要や要点，詳細を，目的に応じて捉えることができる。 ②[R]海外から来日し，日本での生活で困難を抱える外国人が異文化理解の授業でゲストスピーカーとして発表した内容や，カメルーン出身で日本育ちの漫画家によって書かれたエッセイの内容を，ある程度未知語を推測しながら全体を読み通し，必要な情報を文章の展開に注意しながら読み取り，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えることができる。 ③[SI]さまざまな形で日本に住んでいる外国の人々がどのような問題に直面しているのか理解したことを基に，個性や多様性を大切にして生きることについて考え，多様な語句や文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合うことができる。 ④[SP]日本に移民として来た人々が抱える問題について理解したことを基に，それらを解決するための方策について調べ，多様な語句や文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができる。 ⑤[W]さまざまな形で日本に住んでいる外国の人々が直面している問題について読んで理解したことを基に，自分が海外で生活するとした場合に直面する困難や相違について，多様な語句や文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報を簡潔に整理して英語で書くことができる。	・日本での生活に困難を抱える外国人をどう支えることができるかについて意見や情報を交換する。 ・外国人の技能習得を目的とした制度についての日本の高校生による発表を聞いて，その概要や要点を理解し，詳しい情報を聞き取る。 ・海外から来日し，日本での生活で困難を抱える外国人が，異文化理解を目的とした授業でゲストスピーカーとして発表した内容を読んで理解する。 ・海外から来日し，日本での生活で困難を抱える外国人が，異文化理解を目的とした授業でゲストスピーカーとして発表した内容をキーワードを用いて簡潔に要点をまとめて伝える。 ・日本での生活に困難を抱える外国人をどう支えることができるかについて意見や情報を交換する。 ・多様な背景を持つ日本代表アスリートについての議論を聞いて，その概要と詳細を理解する。 ・自分が海外で生活するとした場合に直面する困難や相違についてまとめて書く。 ・Passage 1，2の重要語句を，英語の定義を手掛かりにしながら再確認する。 ・海外から日本に移民として来た人々が抱える問題を解決するための方策について発表する。	○	○	○	○	○	【知】 ①【知識】社会的な話題について発表する際の表現や，討論の際に自分の立場を明確にして意見を述べるための表現の特徴やきまりを理解している。 【技能】社会的な話題について発表する際の表現や，討論の際に自分の立場を明確にして意見を述べるための表現の特徴やきまりの理解を基に，外国人の技能習得を目的とした制度についての発表や多様な背景を持つ日本代表アスリートについての議論の内容を捉える技能を身に付けている。 ②【知識】文章を読み取るために必要な語彙や，現状や問題点の説明や要約の仕方，比喩表現の使い方に関する事項を理解している。 【技能】文章を読み取るために必要な語彙や，現状や問題点の説明や要約の仕方，比喩表現の使い方に関する事項の理解を基に，日本での生活で困難を抱える外国人の発表やカメルーン出身で日本育ちの漫画家によって書かれたエッセイを読み取る技能を身に付けている。 ③【知識】情報や考え，気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けるために必要となる語彙や表現，音声等を理解している。 【技能】多様性を認める社会の在り方について，情報や考え，気持ちなどを即興で伝え合う技能を身に付けている。 【思】 ①外国人の技能習得を目的とした制度についての発表や多様な背景を持つ日本代表アスリートについての議論を聞いて，その展開や話し手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えている。 ②日本での生活で困難を抱える外国人の発表や，カメルーン出身で日本育ちの漫画家によって書かれたエッセイの内容を文章の展開に注意しながら読み，多様性を認める社会の在り方について意見をまとめるのに必要な情報を読み取り，概要や要点，詳細を捉えている。 ③さまざまな形で日本に住んでいる外国の人々が直面している問題点について理解したことを基に，個性や多様性を大切にして生きることについて考え，情報や考え，課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合っている。 ④日本に移民として来た人々が抱える問題について理解したことを基に，それらを解決するための方策について調べ，多様な語句や文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを論理的に話して伝えている。 ⑤さまざまな形で日本に住んでいる外国の人々が直面している問題について理解したことを基に，自分が海外で生活するとした場合に直面する困難や相違について，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報を簡潔に整理して英語で書いて表現している。 【主】 ①外国人の技能習得を目的とした制度についての発表や多様な背景を持つ日本代表アスリートについての議論を聞いて，その展開や話し手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えようとしている。 ②日本での生活で困難を抱える外国人の発表や，カメルーン出身で日本育ちの漫画家によって書かれたエッセイの内容を文章の展開に注意しながら読み，多様性を認める社会の在り方について意見をまとめるのに必要な情報を読み取り，概要や要点，詳細を捉えようとしている。 ③さまざまな形で日本に住んでいる外国の人々が直面している問題点について理解したことを基に，個性や多様性を大切にして生きることについて考え，情報や考え，課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合おうとしている。 ④日本に移民として来た人々が抱える問題について理解したことを基に，それらを解決するための方策について調べ，多様な語句や文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを論理的に話して伝えようとしている。 ⑤さまざまな形で日本に住んでいる外国の人々が直面している問題について理解したことを基に，自分が海外で生活するとした場合に直面する困難や相違について，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報を簡潔に整理して英語で書いて表現しようとしている。	○	○	○	10

	Unit 2 Sports People 【スポーツ・福祉】 1　スポーツでの差別をなくし多様性を高めるために行われてきた努力について理解し，考えを伝え合うことができる。 2　スポーツの分野でジェンダーや障がいによる差別をなくしていくことが社会全体にどのような影響を与えうるのかを考え，意見を交換することができる。 ①[L]はっきりとなじみのある発音で話されるまとまりのある長さの，車いすテニスの選手についてのラジオ番組と女子マラソンの歴史についての発表を聞いて，話の展開や話し手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えることができる。 ②[R]パラリンピックについての説明文，「女子柔道の母」と呼ばれるラスティ・カノコギの物語の内容を，ある程度未知語を推測しながら全体を読み通し，文章の展開に注意しながら必要な情報を時系列に即して適切に読み取り，概要や要点，詳細を捉えることができる。 ③[SI]スポーツ分野でのジェンダーや障がいによる差別について理解したことを基に，多様性を高めることが社会全体に与える影響について，多様な語句や文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合うことができる。 ④[SP]スポーツでのジェンダーや障がいによる差別やその課題について調べ，多様な語句や文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，課題の解決策などを論理的に話して伝えることができる。 ⑤[W]パラリンピックの起源についての説明文と「女子柔道の母」についての物語文を読んで理解したことを基に，選手の多様性とスポーツの発展について，多様な語句や文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報を簡潔に整理して英語で書くことができる。	・スポーツ経験や観戦，パラスポーツ観戦の経験について意見や情報を交換する。 ・車いすテニスの選手についてのラジオ番組を聞いて，その概要や要点を理解し，詳しい情報を聞きとる。 ・パラリンピックの起源や歴史についての説明文の内容を読んで理解する。 ・パラリンピックの起源や歴史についての説明文の内容を，キーワードを用いて簡潔に要点をまとめて伝える。 ・日本での生活に困難を抱える外国人をどう支えることができるかについて意見や情報を交換する。 ・女子マラソンの歴史についての発表を聞いて，その概要と詳細を理解する。 ・「女子柔道の母」と呼ばれるラスティ・カノコギの物語を読んで，その概要と詳細を理解する。 ・ラスティ・カノコギがメダルを受け取れるように自分の意見を主張する手紙を書く。 ・Passage 1，2の重要語句を，英語の定義を手掛かりにしながら再確認する。 ・スポーツの分野でジェンダーや障がいによる差別をなくしていくことが社会全体にどのような影響を与えうるのか考え，調べてまとめたことを基に発表し意見交換をする。	○	○	○	○	○	【知】 ①【知識】ラジオ番組での表現の特徴や時系列で情報を伝える際の表現の特徴やきまりを理解している。 【技能】ラジオ番組での表現の特徴や時系列で情報を伝える際の表現の特徴やきまりの理解を基に，車いすテニスの選手についてのラジオ番組と女子マラソンの歴史についての発表の内容を捉える技能を身に付けている。 ②【知識】文章を読み取るために必要な語彙や，事実や出来事を時系列で説明する際の表現の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】文章を読み取るために必要な語彙や，事実や出来事を時系列で説明する際の表現の特徴やきまりに関する事項の理解を基に，パラリンピックについての説明文，「女子柔道の母」の物語を読み取る技能を身に付けている。 ③【知識】情報や考え，気持ちなどを詳しく話して伝え，やり取りを続けるために必要な語彙や表現，音声等を理解している。 【技能】スポーツ界で多様性を受け入れることについて，情報や考え，気持ちなどを即興で伝え合う技能を身に付けている。 ④【知識】情報や考え，気持ちなどを詳しく話して伝えるために必要となる語彙や表現，音声等を理解している。 【技能】スポーツでのジェンダーや障害による差別について理解したことを基に，それらを解決するための方策について調べ，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える技能を身に付けている。 ⑤【知識】問題点や解決策を簡潔にまとめて伝える表現に関する事項を理解している。 【技能】女性アスリートや障がいを持つアスリートが直面している問題について読んで理解したことを基に，問題点と解決策について，多様な語句や文を用いて，情報を簡潔に整理して英語で書く技能を身に付けている。 【思】 ①車いすテニスの選手についてのラジオ番組と女子マラソンの歴史についての発表を聞いて，話の展開や話し手の意図，概要・要点，詳細を目的に応じて捉えている。 ②パラリンピックについての説明文，「女子柔道の母」と呼ばれるラスティ・カノコギの物語の内容を読み，文章の展開に注意しながら必要な情報を時系列に即して適切に読み取り，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えている。 ③スポーツ分野でのジェンダーや障がいによる差別について理解したことを基に，多様性を高めることが社会全体に与える影響について情報や考え，課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合っている。 ④スポーツ分野でのジェンダーや障がいによる差別について理解したことを基に，その課題や解決策について調べ，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えている。 ⑤パラリンピックの起源についての説明文と「女子柔道の母」についての物語文を読んで理解したことを基に，選手の多様性とスポーツの発展について，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報を簡潔に整理して英語で書いて表現している。 【主】 ①車いすテニスの選手についてのラジオ番組と女子マラソンの歴史についての発表を聞いて，話の展開や話し手の意図，概要・要点，詳細を目的に応じて捉えようとしている。 ②パラリンピックについての説明文，「女子柔道の母」と呼ばれるラスティ・カノコギの物語の内容を読み，文章の展開に注意しながら必要な情報を時系列に即して適切に読み取り，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えようとしている。 ③スポーツ分野でのジェンダーや障がいによる差別について理解したことを基に，多様性を高めることが社会全体に与える影響について情報や考え，課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合おうとしている。 ④スポーツ分野でのジェンダーや障がいによる差別について理解したことを基に，その課題や解決策について調べ，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えようとしている。 ⑤パラリンピックの起源についての説明文と「女子柔道の母」について	○	○	○	10
1学	定期考査		○	○			○		○	○		1

学期	Unit 3 Ethical Consumption for a Sustainable World 【環境問題】 1　フェアトレードの観点から世界の格差，搾取，環境破壊について理解し，考えを伝え合うことができる。 2　社会全体が豊かになりうる消費生活の可能性について考え，意見を交換することができる。 ①[L]はっきりとなじみのある発音で話されるまとまりのある長さの，文化祭の催し物についての校内放送とエシカル消費についての対話を聞いて，話の展開や話し手の意図，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えることができる。 ②[R]文化祭の出し物についての会話と，エシカル消費についての記事の内容を，ある程度未知語を推測しながら全体を読み通し，必要な情報を読み取り，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えることができる。 ③[SI]フェアトレードの観点から世界の格差，搾取，環境破壊について理解したことを基に，フェアトレード製品の今後の普及について考え，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを論理的に詳しく話して伝え合うことができる。 ④[SP]フェアトレードやエシカル消費について理解したことを基に，日本におけるフェアトレード製品と他校の取り組みを調べ，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができる。 ⑤[W]フェアトレードやエシカル消費について読んで理解したことを基に，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報を簡潔な英語でまとめ，エシカル消費を促進するチラシを工夫して作成することができる。	・自分たちがこれまで目にしてきたフェアトレード製品について情報を交換する。 ・文化祭での催し物の案内についての校内放送を聞いて，その概要や要点を理解し，詳しい情報を聞き取る。 ・文化祭の出し物についての高校生の会話の内容を読んで理解する。 ・文化祭の出し物の企画についての高校生の話し合いの内容を，キーワードを用いて簡潔に要点をまとめて伝える。 ・フェアトレード製品の今後の普及について意見や情報を交換する。 ・エシカル消費についての対話を聞いて，その概要と詳細を理解する。 ・エシカル消費についての記事を読んで，その概要と詳細を理解する。 ・校内でエシカル消費を促進するためのチラシを作成する。 ・Passage 1，2の重要語句を，英語の定義を手掛かりにしながら再確認する。 ・文化祭の出し物を決めるために，日本におけるフェアトレード製品と他校の取り組みを調べ，その結果を発表する。	○	○	○	○	○	【知】 ①【知識】案内や勧誘の基本的な表現や，話題の背景にある社会的な問題について理解している。 【技能】案内や勧誘の基本的な表現や，話題の背景にある社会的な問題についての理解を基に，文化祭の催し物についての校内放送とエシカル消費についての対話の内容を捉える技能を身に付けている。 ②【知識】文章を読み取るために必要な語彙や，意見とその根拠，具体例の述べ方に関する事項を理解している。 【技能】文章を読み取るために必要な語彙や，意見とその根拠，具体例の述べ方に関する事項の理解を基に，文化祭の出し物についての会話とエシカル消費についての記事を読み取る技能を身に付けている。 ③【知識】社会的な話題について，情報や考え，気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを継続するために必要となる語彙や表現，音声等を理解している。 【技能】フェアトレード製品の今後の普及について，情報や考え，気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続け，会話を発展させる技能を身に付けている。 ④【知識】社会的な話題について，情報や考え，気持ちなどを詳しく話して伝えるために必要となる語彙や表現，音声等を理解している。 【技能】日本におけるフェアトレード製品と他校の取り組みを調べ，多様な語句や文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを論理的に詳しく話して伝える技能を身に付けている。 ⑤【知識】勧誘や提案の内容を簡潔にまとめて伝える表現に関する事項を理解している。 【技能】フェアトレードやエシカル消費について読んで理解したことを基に，社会全体を豊かにしうる消費生活の可能性について，多様な語句や文を用いて，情報を簡潔に整理して英語で書く技能を身に付けている。 【思】 ①文化祭の催し物についての校内放送とエシカル消費についての対話を聞いて，その展開や話し手の意図，概要・要点，詳細を目的に応じて捉えている。 ②文化祭の出し物についての会話と，エシカル消費についての記事の内容を読み，社会全体が豊かになりうる消費生活の可能性について意見をまとめるのに必要な情報を読み取り，概要や要点，詳細を捉えている。 ③フェアトレードの観点から世界の格差，搾取，環境破壊について理解したことを基に，フェアトレード製品の今後の普及について考え，情報や考え，気持ちなどを論理的に詳しく話して伝え合っている。 ④フェアトレードやエシカル消費について理解したことを基に，日本におけるフェアトレード製品と他校の取り組みについて調べ，多様な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えている。 ⑤フェアトレードやエシカル消費について読んで理解したことを基に，多様な語句や文を用いて，情報を簡潔な英語でまとめ，エシカル消費を促進するチラシを作成している。 【主】 ①文化祭の催し物についての校内放送とエシカル消費についての対話を聞いて，その展開や話し手の意図，概要・要点，詳細を目的に応じて捉えようとしている。 ②文化祭の出し物についての会話と，エシカル消費についての記事の内容を読み，社会全体が豊かになりうる消費生活の可能性について意見をまとめるのに必要な情報を読み取り，概要や要点，詳細を捉えようとしている。 ③フェアトレードの観点から世界の格差，搾取，環境破壊について理解したことを基に，フェアトレード製品の今後の普及について考え，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合おうとしている。 ④フェアトレードやエシカル消費について理解したことを基に，日本におけるフェアトレード製品と他校の取り組みについて調べ，多様な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えようとしている。 ⑤フェアトレードやエシカル消費について読んで理解したことを基に，多様な語句や文を用いて，情報を簡潔な英語でまとめ，エシカル消費を促進するチラシを作成しようとしている。	○	○	○	10

	Unit 4 Saving Agriculture 【農業・テクノロジー】 1　高度なテクノロジーを活用したスマート農業について理解し，考えを伝え合うことができる。 2　テクノロジーを用いた農業が私たちの生活をどのように豊かにしていくのか考え，意見を交換することができる。 ① [L]垂直農法についての対話を聞いて，支援をほとんど活用しなくても，話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り，概要や要点，詳細を捉え，従来の農法と比較して長所，短所をまとめることができる。 ②[R]スマート農業についての記事を読み，文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えることができる。 ③[S1]日本の食糧生産を増やすための新しい技術について，聞いたり読んだりしたことを基に，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合うことができる。 ④[SP]日本の農業に貢献する可能性のある新しい技術について調べたことを基に作成したポスターを用いて，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができる。 ⑤[W]日本のスマート農業の技術について，聞いたり読んだりしたことを基に，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考えなどを論理的に詳しく，海外の高校に紹介するメールの形式で書いて伝えることができる。	・自分の日常生活における食生活や食べているものの生産地について，情報を交換する。 ・垂直農法についての対話を聞いて理解する。また，聞いた内容について情報をまとめ，意見を交換する。 ・スマート農業についての記事を読んで理解する。 ・日本の食糧生産を増やすための新しい技術について意見や情報を交換する。 ・日本のスマート農業の技術について海外の高校に紹介するメールを書く。 ・Passage の重要語句を，英語の定義を手掛かりにしながら再確認する。 ・日本の農業に貢献する可能性のある新しい技術について調べ，ポスターを作成して発表する。	○	○	○	○	○	【知】 ①【知識】垂直農法の長所・短所を説明する表現や，背景にある社会的な問題について理解している。 【技能】垂直農法の長所・短所を説明する基本的な語彙表現や，背景にある社会的な問題についての理解を基に，垂直農法についての対話の内容を捉えて情報をまとめる技能を身に付けている。 ②【知識】記事を読み取るために必要な語彙や，概要のまとめ方，問題点と解決方法の具体例の述べ方などに関する事項を理解している。 【技能】記事を読み取るために必要な語彙や，概要のまとめ方，問題点と解決方法の具体例の述べ方などに関する事項の理解を基に，スマート農業についての記事を読み取る技能を身に付けている。 ③【知識】日本の食糧生産を増やすための新しい技術について，情報や考え，気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを継続するために必要となる語彙や表現，音声等を理解している。 【技能】日本の食糧生産を増やすための新しい技術について，情報や考え，気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続け，会話を発展させる技能を身に付けている。 ④【知識】日本の農業に貢献する可能性のある新しい技術について，情報や考え，気持ちなどを詳しく話して伝えるために必要となる語彙や表現，音声等を理解している。 【技能】日本の農業に貢献する可能性のある新しい技術について調べ，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを論理的に詳しく話して伝える技能を身に付けている。 ⑤【知識】日本のスマート農業の技術について，内容を簡潔にまとめて伝える表現に関する事項を理解している。 【技能】日本のスマート農業について読んで理解したことを基に，多様な語句や文を用いて，情報を簡潔に整理して英語で海外の高校に紹介するメールを書く技能を身に付けている。 【思】 ①垂直農法についての対話を聞いて，支援をほとんど活用しなくても，話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り，概要や要点，詳細を捉え，従来の農法と比較して長所，短所をまとめている。 ②スマート農業についての記事を読み，文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えている。 ③日本の食糧生産を増やすための新しい技術について，聞いたり読んだりしたことを基に，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合っている。 ④日本の農業に貢献する可能性のある新しい技術について調べたことを基に作成したポスターを用いて，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えている。 ⑤日本のスマート農業の技術について，聞いたり読んだりしたことを基に，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考えなどを論理的に詳しく，海外の高校に紹介するメールの形式で書いて伝えている。 【主】 ①垂直農法についての対話を聞いて，支援をほとんど活用しなくても，話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り，概要や要点，詳細を捉え，従来の農法と比較して長所，短所をまとめようとしている。 ②スマート農業についての記事を読み，文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えようとしている。 ③日本の食糧生産を増やすための新しい技術について，聞いたり読んだりしたことを基に，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合おうとしている。 ④日本の農業に貢献する可能性のある新しい技術について調べたことを基に作成したポスターを用いて，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えようとしている。 ⑤日本のスマート農業の技術について，聞いたり読んだりしたことを基に，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情	○	○	○	10
	定期考査		○	○			○		○	○		1
	Unit 5 Sustainable Cities and Communities 【持続可能な街づくり】 1　地域社会との交わりを可能にする新しい形の旅行について理解し，自分の考えを伝え合うことができる。 2　旅行の観点から地域おこしをする可能性について考え，意見を交換することができる。 ① [L]公共交通手段についての会話やニュース番組でのインタビューを聞いて，支援をほとんど活用しなくても，話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り，概要や要点，詳細を捉え，それぞれの交通手段の長所や短所について理解したことをまとめることができる。 ②[R]地域創生のための新しい街づくりについての記事を読み，文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り，概要や要点，詳細を捉え，旅行の観点から地域おこしをする可能性について考えることができる。 ③[S1]交通手段や地域社会との交わりを可能にする新しい形の旅行について聞いたり読んだりしたことを基に，旅行先を決める際のポイントについて，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合うことができる。 ④[SP]交通手段や地域社会との交わりを可能にする新しい形の旅行について聞いたり読んだりしたことを基に，自分の住んでいる地域に海外から観光客を誘致するための計画を作成し，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができる。 ⑤[W]日本における地域創生のための新しい街づくりについて，聞いたり読んだりしたことを基に，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考えなどを書いて紹介するチラシを作成して伝えることができる。	・旅をする，もしくは住むならば都会と田舎とどちらがよいかについて，意見を交換する。 ・公共交通手段についての会話を聞いて理解する。 ・地域創生のための新しい街づくりについての記事を読んで理解する。 ・旅行先を決める際のポイントについて意見や情報を交換する。 ・日本における地域創生のための新しい街づくりについて紹介するチラシを作成する。 ・Passage の重要語句を，英語の定義を手掛かりにしながら再確認する。 ・自分の住んでいる地域に海外から観光客を誘致するための計画について発表する。	○	○	○	○	○	【知】 ①【知識】交通手段を比較し，長所や短所を説明する際に必要な基本的な表現や，話題の背景にある社会的な問題について理解している。 【技能】公共交通手段についての会話やニュース番組でのインタビューの内容を捉え，長所や短所を聞き取ってまとめる技能を身に付けている。 ②【知識】社会的な内容の記事を読み取るために必要な語彙や，意見とその根拠，具体例の述べ方に関する事項を理解している。 【技能】社会的な内容の記事を読み取るために必要な語彙や，意見とその根拠，具体例の述べ方に関する事項の理解を基に，地域創生のための新しい街づくりについての記事を読み取る技能を身に付けている。 ③【知識】旅行先を決める際のポイントについて，情報や考え，気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを継続するために必要となる語彙や表現，音声等を理解している。 【技能】旅行先を決める際のポイントについて，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを論理的に詳しく話して伝える技能を身に付けている。 ④【知識】自分の住んでいる地域に海外から観光客を誘致するための計画について，情報や考え，気持ちなどを詳しく話して伝えるために必要となる語彙や表現，音声等を理解している。 【技能】自分の住んでいる地域に海外から観光客を誘致するための計画について，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを論理的に詳しく話して伝える技能を身に付けている。 ⑤【知識】新しい街づくりについて紹介する内容を簡潔にまとめて伝える表現に関する事項を理解している。 【技能】地域創生のための新しい街づくりについて読んで理解したことを基に，日本における取り組みについて，多様な語句や文を用いて，情報を簡潔に整理して英語で書いて紹介する技能を身に付けている。 【思】 ①公共交通手段についての会話やニュース番組でのインタビューを聞いて，支援をほとんど活用しなくても，話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り，概要や要点，詳細を捉え，それぞれの交通手段の長所や短所について理解したことをまとめている。 ②地域創生のための新しい街づくりについての記事を読み，文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り，概要や要点，詳細を捉え，旅行の観点から地域おこしをする可能性について考えている。 ③交通手段や地域社会との交わりを可能にする新しい形の旅行について聞いたり読んだりしたことを基に，旅行先を決める際のポイントについて，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合っている。 ④交通手段や地域社会との交わりを可能にする新しい形の旅行について聞いたり読んだりしたことを基に，自分の住んでいる地域に海外から観光客を誘致するための計画を作成し，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えている。 ⑤日本における地域創生のための新しい街づくりについて，聞いたり読んだりしたことを基に，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考えなどを書いて紹介するチラシを作成して伝えている。 【主】 ①公共交通手段についての会話やニュース番組でのインタビューを聞いて，支援をほとんど活用しなくても，話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り，概要や要点，詳細を捉え，それぞれの交通手段の長所や短所について理解したことをまとめようとしている。 ②地域創生のための新しい街づくりについての記事を読み，文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り，概要や要点，詳細を捉え，旅行の観点から地域おこしをする可能性について考えようとしている。 ③交通手段や地域社会との交わりを可能にする新しい形の旅行について聞いたり読んだりしたことを基に，旅行先を決める際のポイントについて，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合おうとしている。 ④交通手段や地域社会との交わりを可能にする新しい形の旅行について	○	○	○	11

	Unit 6 Language and Thought 【言語・文化】 1　言語が私たちの思考やものの捉え方に影響を及ぼすという理論について理解し，自分の考えを伝え合うことができる。 2　母語とは異なる言語の特徴について調べ，言語と思考の関係について意見を交換することができる。 ①[L]外国語とそれぞれの言語における考え方についての会話を聞いて，支援をほとんど活用しなくても，話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り，概要や要点，詳細を捉え，言語に影響を与える要因について意見を交換することができる。 ②[R]言語と思考に関するプレゼンテーションについて，文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り，概要や要点，詳細を捉え，言語が人の思考やものの捉え方に影響を及ぼすと考えられる根拠となる事例を論理的にまとめることができる。 ③[SI]言語が人の思考に与える影響について，聞いたり読んだりしたことを基に，複数の言語が使用できることの利点について，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考えなどを論理的に詳しく話して伝え合うことができる。 ④[SP]言語の多様性について調べ，自分の選んだ言語とその特徴について，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを論理的に詳しく発表することができる。 ⑤[W]言語と思考の関係について，聞いたり読んだりしたことを基に，自分の考えをインターネット上の掲示板に投稿する文章を書き，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを論理的に詳しく伝えることができる。また，自分の選んだ言語とその特徴について，情報や考えなどを論理的に詳しく複数の段落から成る文章で書くことができる。	・コミュニケーションの手段，方法，特徴について，情報や意見を交換する。 ・外国語とそれぞれの言語における考え方についての会話を聞いて理解する。 ・言語と思考についてのプレゼンテーションの概要を読んで理解する。 ・複数の言語が使用できることの利点について意見や情報を交換する。 ・言語と思考の関係について自分の考えをインターネット上の掲示板に投稿する。 ・Passage の重要語句を，英語の定義を手掛かりにしながら再確認する。 ・言語の多様性について調べ，自分の選んだ言語とその特徴について発表する。	○	○	○	○	○	【知】 ①【知識】異なる外国語の特徴を比較し対照的に説明するための基本的な表現や，言語に影響を与える要因について理解している。 【技能】異なる外国語の特徴を比較し対照的に説明するための基本的な表現や，言語に影響を与える要因についての理解を基に，外国語とそれぞれの言語における考え方についての会話の内容を捉える技能を身に付けている。 ②【知識】言語と思考についてのプレゼンテーションの概要を読み取るために必要な語彙や，意見とその根拠，具体例の述べ方に関する事項を理解している。 【技能】言語と思考についてのプレゼンテーションの概要を読み取るために必要な語彙や，意見とその根拠，具体例の述べ方に関する事項の理解を基に，言語が人の思考に影響を及ぼすという理論について読み取る技能を身に付けている。 ③【知識】複数の言語が使用できることの利点について，情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを継続するために必要となる語彙や表現，音声等を理解している。 【技能】複数の言語が使用できることの利点について，多様な語句や文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを論理的に詳しく話して伝え合う技能を身に付けている。 ④【知識】言語の多様性について調べ，自分の選んだ言語とその特徴について発表するために必要となる語彙や表現，音声等を理解している。 【技能】言語の多様性について調べ，自分の選んだ言語とその特徴について発表するために必要となる語彙や表現，音声等の理解を基に，情報や考え，気持ちなどを論理的に詳しく話して伝える技能を身に付けている。 ⑤【知識】勧誘や提案の内容を簡潔にまとめて伝える表現に関する事項を理解している。 【技能】言語と思考の関係について読んで理解したことを基に，多様な語句や文を用いて，情報を簡潔に整理して英語で書く技能を身に付けている。 【思】 ①外国語とそれぞれの言語における考え方についての会話を聞いて，支援をほとんど活用しなくても，話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り，概要や要点，詳細を捉え，言語に影響を与える要因について意見を交換している。 ②言語と思考に関するプレゼンテーションについて，文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り，概要や要点，詳細を捉え，言語が人の思考やものの捉え方に影響を及ぼすと考えられる根拠となる事例を論理的にまとめている。 ③言語が人の思考に与える影響について，聞いたり読んだりしたことを基に，複数の言語が使用できることの利点について，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考えなどを論理的に詳しく話して伝え合っている。 ④言語の多様性について調べ，自分の選んだ言語とその特徴について，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを論理的に詳しく発表している。 ⑤言語と思考の関係について，聞いたり読んだりしたことを基に，自分の考えをインターネット上の掲示板に投稿する文章を書き，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを論理的に詳しく伝えている。また，自分の選んだ言語とその特徴について，情報や考えなどを論理的に詳しく複数の段落から成る文章で書いている。 【主】 ①外国語とそれぞれの言語における考え方についての会話を聞いて，支援をほとんど活用しなくても，話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り，概要や要点，詳細を捉え，言語に影響を与える要因について意見を交換しようとしている。 ②言語と思考に関するプレゼンテーションについて，文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り，概要や要点，詳細を捉え，言語が人の思考やものの捉え方に影響を及ぼすと考えられる根拠となる事例を論理的にまとめようとしている。 ③言語が人の思考に与える影響について，聞いたり読んだりしたことを基に，複数の言語が使用できることの利点について，多様な語句・文を	○	○	○	11
2学	定期考査		○	○			○		○	○		1

学期	Unit 7 How Can We Make a Peaceful World? 【戦争・平和】 1　元アメリカ合衆国大統領バラク・オバマが被爆地広島で行ったスピーチを理解し，この歴史的スピーチの意味について考えを伝え合うことができる。 2　平和な未来を築くためには何が必要なのか考え，意見を交換することができる。 ①[L]戦争が起こる原因についての世界史の授業での議論を聞いて，支援をほとんど活用しなくても，話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り，議論の概要や要点，詳細を捉え，戦争や紛争をなくす方法について意見をまとめることができる。 ②[R]オバマ元大統領の広島でのスピーチについて，文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り，概要や要点，詳細を捉え，この歴史的スピーチの意味について考えを伝え合うことができる。 ③[S1]戦争や平和について聞いたり読んだりしたことを基に，いかなる場合に暴力が正当化されうるかについて，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合うことができる。 ④[SP]広島の原爆被害について調べたことを基に，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，得られた情報や考え，気持ちなどを論理的に整理して詳しく話して伝えることができる。 ⑤[W]オバマ元大統領の広島でのスピーチについて，聞いたり読んだりしたことを基に，自分の考えを，多様な語句や文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを論理的に書いて伝えることができる。また，広島の原爆被害について調べた内容について，多様な語句や文を適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができる。	・現在起こっている戦争や紛争，その原因について知っている情報を交換する。また，平和の実現のために，私たちがすべきことについて意見を交換する。 ・世界史の授業での戦争に関する議論を聞いて理解する。 ・オバマ元大統領の広島でのスピーチを読んで理解する。 ・いかなる場合に暴力が正当化されうるかについて意見や情報を交換する。 ・オバマ元大統領の広島でのスピーチに対する自分の考えをSNSに投稿する。 ・Passage の重要語句を，英語の定義を手掛かりにしながら再確認する。 ・広島の原爆被害について調べ，その結果を発表する。	○	○	○	○	○	【知】 ①【知識】ディスカッションにおいて自分の意見を述べたり，司会者として話し合いを進行するための基本的な表現や，話題の背景にある社会的な問題について理解している。 【技能】ディスカッションにおいて自分の意見を述べたり，司会者として話し合いを進行するための基本的な表現や，話題の背景にある社会的な問題についての理解を基に，紛争の原因についての授業中の議論の内容を捉える技能を身に付けている。 ②【知識】オバマ元大統領の広島でのスピーチを読み取るために必要な語彙や，スピーチで用いられる表現の特徴に関する事項を理解している。 【技能】オバマ元大統領の広島でのスピーチを読み取るために必要な語彙や，スピーチで用いられる表現の特徴に関する事項の理解を基に，歴史的スピーチの意味を読み取る技能を身に付けている。 ③【知識】暴力の正当化について，情報や考え，気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを継続するために必要となる語彙や表現，音声等を理解している。 【技能】暴力の正当化について，多様な語句や文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを論理的に詳しく話して伝え合う技能を身に付けている。 ④【知識】広島の原爆被害について，情報や考え，気持ちなどを詳しく話して伝えるために必要となる語彙や表現，音声等を理解している。 【技能】広島の原爆被害について調べ，その結果について発表するために必要となる語彙や表現，音声等の理解を基に，情報や考え，気持ちなどを論理的に詳しく話して伝える技能を身に付けている。 ⑤【知識】SNS上で意見を発信する際の表現に関する事項を理解している。 【技能】オバマ元大統領のスピーチを読んで理解したことを基に，平和な未来を築くためには何が必要なのかについて，多様な語句や文を用いて，情報を簡潔に整理して英語で書いて発信する技能を身に付けている。 【思】 ①戦争が起こる原因についての世界史の授業での議論を聞いて，支援をほとんど活用しなくても，話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り，議論の概要や要点，詳細を捉え，戦争や紛争をなくす方法について意見をまとめている。 ②オバマ元大統領の広島でのスピーチについて，文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り，概要や要点，詳細を捉え，この歴史的スピーチの意味について考えを伝え合っている。 ③戦争や平和について聞いたり読んだりしたことを基に，いかなる場合に暴力が正当化されうるかについて，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合っている。 ④広島の原爆被害について調べたことを基に，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，得られた情報や考え，気持ちなどを論理的に整理して詳しく話して伝えている。 ⑤オバマ元大統領の広島でのスピーチについて，聞いたり読んだりしたことを基に，自分の考えを，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを論理的に書いて伝えている。また，広島の原爆被害について調べた内容について，多様な語句や文を適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えている。 【主】 ①戦争が起こる原因についての世界史の授業での議論を聞いて，支援をほとんど活用しなくても，話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り，議論の概要や要点，詳細を捉え，戦争や紛争をなくす方法について意見をまとめようとしている。 ②オバマ元大統領の広島でのスピーチについて，文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り，概要や要点，詳細を捉え，この歴史的スピーチの意味について考えを伝え合おうとしている。 ③戦争や平和について聞いたり読んだりしたことを基に，いかなる場合に暴力が正当化されうるかについて，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合おうとしている。	○	○	○	11

	Unit 8 Empathy and Human Beings 【進化論】 1　人類が持つ共感する心はどのように生まれたのかを進化論の観点から理解し，自分の考えを伝え合うことができる。 2　他者に共感できる心を育てるためには何が必要なのか考え，意見を交換することができる。 ①[L]幼児の共感力を試す心理実験についての大学での講義の内容について，支援をほとんど活用しなくても，話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り，概要や要点，詳細を捉え，その実験結果について意見を交換することができる。 ②[R]人間の心の誕生についての記事を読み，文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り，概要や要点，詳細を段落構成に注意しながら捉えることができる。 ③[SI]SNSの使用に関する利点と問題点について，聞いたり読んだりしたことを基に，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合うことができる。 ④[SP]人間以外の動物の脳の特徴について調べたことを基に，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考えなどを論理的に詳しく話して伝えることができる。 ⑤[W]人間の心の誕生についての本を紹介するために，語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを簡潔に，説得力のある英語で書いて伝えることができる。	・人間と動物のコミュニケーションの違いについて考え，意見を交換する。 ・人間の心についての大学の講義を聞いて理解する。 ・人間の心の誕生についての記事を読んで理解する。 ・SNSの使用に関する利点と問題点について意見や情報を交換する。 ・人間の心の誕生についての本の紹介文を書く。 ・Passage の重要語句を，英語の定義を手掛かりにしながら再確認する。 ・人間以外の動物の脳の特徴について調べ，その結果を発表する。	○	○	○	○	○	【知】 ①【知識】実験の内容を順序立てて説明するための基本的な表現や，大学の講義の話題の背景にある学説について理解している。 【技能】実験の内容を順序立てて説明するための基本的な表現や，大学の講義の話題の背景にある学説についての理解を基に，人間の心についての講義の内容を捉える技能を身に付けている。 ②【知識】人間の心の誕生についての記事を読み取るために必要な語彙や，段落構成に関する事項を理解している。 【技能】人間の心の誕生についての記事を読み取るために必要な語彙や，段落構成に関する事項の理解を基に，進化論の視点から記事を読み取る技能を身に付けている。 ③【知識】SNSの使用に関する利点と問題点について，情報や考え，気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを継続するために必要となる語彙や表現，音声等を理解している。 【技能】SNSの使用に関する利点と問題点について，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを論理的に詳しく話して伝え合う技能を身に付けている。 ④【知識】人間以外の動物の脳の特徴について調べ，情報や考え，気持ちなどを詳しく話して伝えるために必要となる語彙や表現，音声等を理解している。 【技能】人間以外の動物の脳の特徴について調べ，その結果について発表するために必要となる語彙や表現，音声等の理解を基に，情報や考え，気持ちなどを論理的に詳しく話して伝える技能を身に付けている。 ⑤【知識】本を紹介し，読書を進める際に用いられる表現に関する事項を理解している。 【技能】本を紹介し，読書を進める際に用いられる表現に関する事項の理解を基に，人間の心の誕生についての本について，情報を簡潔に整理して説得力のある英語で書く技能を身に付けている。 【思】 ①幼児の共感力を試す心理実験についての大学での講義の内容について，支援をほとんど活用しなくても，話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り，概要や要点，詳細を捉え，その実験結果について意見を交換している。 ②人間の心の誕生についての記事を読み，文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り，概要や要点，詳細を段落構成に注意しながら捉えている。 ③SNSの使用に関する利点と問題点について，聞いたり読んだりしたことを基に，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合っている。 ④人間以外の動物の脳の特徴について調べたことを基に，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考えなどを論理的に詳しく話して伝えている。 ⑤人間の心の誕生についての本を紹介するために，語句や文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを簡潔に，説得力のある英語で書いて伝えている。 【主】 ①幼児の共感力を試す心理実験についての大学での講義の内容について，支援をほとんど活用しなくても，話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り，概要や要点，詳細を捉え，その実験結果について意見を交換しようとしている。 ②人間の心の誕生についての記事を読み，文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り，概要や要点，詳細を段落構成に注意しながら捉えようとしている。 ③SNSの使用に関する利点と問題点について，聞いたり読んだりしたことを基に，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合おうとしている。 ④人間以外の動物の脳の特徴について調べたことを基に，多様な語句・文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考えなどを論理的に詳しく話して伝えようとしている。 ⑤人間の心の誕生についての本を紹介するために，語句や文を目的や場面，状況などに応じて適切に用いて，情報や考え，気持ちなどを簡潔に，説得力のある英語で書いて伝えようとしている。	○	○	○	10
	定期考査		○	○			○		○	○		1
3学期	共通テスト演習	基本的な問題を正確かつスピーディーに解答できるようになる。またマーク式問題にも対応できるようになる。	○	○			○	定期考査 小テスト 提出物 授業内の取り組み 上記を総合して評価を行う。	○	○	○	15
	個別受験指導	個々の志望校の過去問を中心に問題演習を行い、疑問点に関して質問をすることで理解を深める。この繰り返しにより、解答の正確性を高めていく。	○	○			○	定期考査 小テスト 提出物 授業内の取り組み 上記を総合して評価を行う。	○	○	○	15 合計 117

年間授業計画　新様式例

東京都立小石川中等教育学校 令和６年度（６学年用） 教科　外国語　　科目　論理・表現Ⅲ

教　科：　外国語　　科　目：　論理・表現Ⅲ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　6 学年　A　組～　D　組

教科担当者：（　A～D組：　　）

使用教科書：（ FACTBOOK English Logic and Expression III（桐原書店）　　）

教科　外国語　　の目標：

【知識及び技能】 外国語の知識を身に付け理解を深めるとともに、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 目的や場面、状況に応じて、情報や考えを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりできるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語に対する理解を深め、主体的、自律的に外国語でコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。

科目　論理・表現Ⅲ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常的な話題や社会的な話題について、目的や場面、状況などに応じた論理構成・展開ができ、情報や考えなどを効果的に伝えるための知識・技能を身に付ける。	日常的な話題や社会的な話題について、情報を整理しながら考えなどを形成し、話したり書いたりして、要点や意図を明確にしながら情報や考えを適切に表現できるようになる。	日常的な話題や社会的な話題について、学習した内容を踏まえて、間違えることを恐れず、さまざまな語句や表現を使って自分の考えを積極的に書いたり話したりすることができるようになる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配当時数
			聞	読	話［や］	話［発］	書					
	Unit 1 Future of jobs in the AI era ・AIに将来取って代わられない職業について話し合うことができる。 ・AIに将来取って代わられない職業について意見を述べるパラグラフを書くことができる。 ・AIに将来取って代わられない職業についてプレゼンテーションをすることができる。	【Type of Paragraph】 意見型 【Extra Writing】 高校生の投票率を上げる方法			○	○	○	【知】 意見型のパラグラフの構成やそこで使われる表現を理解し，適切に活用することができる。 【思】 AIに将来取って代わられない職業について話し合うことができる。 AIに将来取って代わられない職業について意見を述べるパラグラフを書くことができる。 AIに将来取って代わられない職業についてプレゼンテーションをすることができる。 高校生の投票率を上げる方法について意見を述べるパラグラフを書くことができる。 【主】 AIやロボットについて，パートナーと短い会話をしようとしている。 AIに将来取って代わられない職業について話し合おうとしている。 AIに将来取って代わられない職業について意見を述べるパラグラフを書こうとしている。 AIに将来取って代わられない職業についてプレゼンテーションをしようとしている。 高校生の投票率を上げる方法について意見を述べるパラグラフを書こうとしている。	○	○	○	5
	Unit 2 How have you grown as a person in your high school life? ・自身が成長した経験について話し合うことができる。 ・自身が成長した経験について描写するパラグラフを書くことができる。 ・自身が成長した経験についてスピーチをすることができる。	【Type of Paragraph】 説明・描写型 【Extra Writing】 海外で成功した日本人の紹介			○	○	○	【知】 説明・描写型のパラグラフの構成やそこで使われる表現を理解し，適切に活用することができる。 【思】 自身が成長した経験について話し合うことができる。 自身が成長した経験について描写するパラグラフを書くことができる。 自身が成長した経験についてスピーチをすることができる。 海外で成功した日本人を紹介するパラグラフを書くことができる。 【主】 直近２週間以内に自身が経験した出来事について，パートナーと短い会話をしようとしている。 自身が成長した経験について話し合おうとしている。 自身が成長した経験について描写するパラグラフを書こうとしている。 自身が成長した経験についてスピーチをしようとしている。 海外で成功した日本人を紹介するパラグラフを書こうとしている。	○	○	○	5
	定期考査						○		○	○		1

1学期	Unit 3 How do people use different types of media? ・ニュースサービスの利用状況のグラフについて話し合うことができる。 ・ニュースサービスの利用状況のグラフを説明するパラグラフを書くことができる。 ・ソーシャルメディアの問題点についてディスカッションをすることができる。	【Type of Paragraph】 グラフ説明型（１要因） 【Extra Writing】 日本における学生の留学先のグラフの説明			○		○	【知】 グラフ説明型（１要因）のパラグラフの構成やそこで使われる表現を理解し，適切に活用することができる。 【思】 ニュースサービスの利用状況のグラフについて話し合うことができる。 ニュースサービスの利用状況のグラフを説明するパラグラフを書くことができる。 ソーシャルメディアの問題点についてディスカッションをすることができる。 日本における学生の留学先のグラフを説明するパラグラフを書くことができる。 【主】 ソーシャルメディアの利用について，パートナーと短い会話をしようとしている。 ニュースサービスの利用状況のグラフについて話し合おうとしている。 ニュースサービスの利用状況のグラフを説明するパラグラフを書こうとしている。 ソーシャルメディアの問題点についてディスカッションをしようとしている。 日本における学生の留学先のグラフを説明するパラグラフを書こうとしている。	○	○	○	6
	Unit 4 3R approach in order to save the environment ・環境保護の方法を見つけるために，3Rの特徴について話し合うことができる。 ・環境保護の方法を見つけるために，3Rの特徴を比較するパラグラフを書くことができる。 ・人々が環境保護のためにできることについてスピーチをすることができる。	【Type of Paragraph】 比較・対比型（比較） 【Extra Writing】 実家・シェアハウス・一人暮らしの比較			○	○	○	【知】 比較・対比型（比較）のパラグラフの構成やそこで使われる表現を理解し，適切に活用することができる。 【思】 環境保護の方法を見つけるために，3Rの特徴について話し合うことができる。 環境保護の方法を見つけるために，3Rの特徴を比較するパラグラフを書くことができる。 人々が環境保護のためにできることについてスピーチをすることができる。 実家・シェアハウス・一人暮らしを比較するパラグラフを書くことができる。 【主】 3Rについて，パートナーと短い会話をしようとしている。 環境保護の方法を見つけるために，3Rの特徴について話し合おうとしている。 環境保護の方法を見つけるために，3Rの特徴を比較するパラグラフを書こうとしている。 人々が環境保護のためにできることについてスピーチをしようとしている。 実家・シェアハウス・一人暮らしを比較するパラグラフを書こうとしている。	○	○	○	5
	Unit 5 Moving toward a cashless society ・キャッシュレス決済の普及の原因とその利点について話し合うことができる。 ・キャッシュレス決済の普及の原因とその利点を示すパラグラフを書くことができる。 ・キャッシュレス決済の普及の原因とその利点についてスピーチをすることができる。	【Type of Paragraph】 原因・結果型 【Extra Writing】 クラウドファンディングの普及の原因と活用方法			○	○	○	【知】 原因・結果型のパラグラフの構成やそこで使われる表現を理解し，適切に活用することができる。 【思】 キャッシュレス決済の普及の原因とその利点について話し合うことができる。 キャッシュレス決済の普及の原因とその利点を示すパラグラフを書くことができる。 キャッシュレス決済の普及の原因とその利点についてスピーチをすることができる。 クラウドファンディングの普及の原因と活用方法を示すパラグラフを書くことができる。 【主】 キャッシュレス決済について，パートナーと短い会話をしようとしている。 キャッシュレス決済の普及の原因とその利点について話し合おうとしている。 キャッシュレス決済の普及の原因とその利点を示すパラグラフを書こうとしている。 キャッシュレス決済の普及の原因とその利点についてスピーチをしようとしている。 クラウドファンディングの普及の原因と活用方法を示すパラグラフを書こうとしている。	○	○	○	5
	定期考査						○		○	○		1

2学期	Unit 6 Are food additives really bad for us? ・食品添加物の摂取について話し合うことができる。 ・食品添加物の摂取について賛否の意見を述べるパラグラフを書くことができる。 ・食品添加物の摂取についてディベートをすることができる。	【Type of Paragraph】 意見型（賛否） 【Extra Writing】 自動運転車の推進の是非			○		○	【知】 意見型（賛否）のパラグラフの構成やそこで使われる表現を理解し，適切に活用することができる。 【思】 食品添加物の摂取について話し合うことができる。 食品添加物の摂取について賛否の意見を述べるパラグラフを書くことができる。 食品添加物の摂取についてディベートをすることができる。 自動運転車の推進の是非について意見を述べるパラグラフを書くことができる。 【主】 着色料の摂取について，パートナーと短い会話をしようとしている。 食品添加物の摂取について話し合おうとしている。 食品添加物の摂取について賛否の意見を述べるパラグラフを書こうとしている。 食品添加物の摂取についてディベートをしようとしている。 自動運転車の推進の是非について意見を述べるパラグラフを書こうとしている。	○	○	○	5
	Unit 7 Japanese culture attracting people all over the world ・日本文化を多角的に説明する方法について話し合うことができる。 ・日本文化を多角的に説明しながら紹介するパラグラフを書くことができる。 ・日本文化を多角的に説明しながら紹介するスピーチをすることができる。	【Type of Paragraph】 説明・描写型 【Extra Writing】 自分の都道府県にある魅力的な場所の説明			○	○	○	【知】 説明・描写型のパラグラフの構成やそこで使われる表現を理解し，適切に活用することができる。 【思】 日本文化を多角的に説明する方法について話し合うことができる。 日本文化を多角的に説明しながら紹介するパラグラフを書くことができる。 日本文化を多角的に説明しながら紹介するスピーチをすることができる。 自分の都道府県にある魅力的な場所を説明するパラグラフを書くことができる。 【主】 日本文化について，パートナーと短い会話をしようとしている。 日本文化を多角的に説明する方法について話し合おうとしている。 日本文化を多角的に説明しながら紹介するパラグラフを書こうとしている。 日本文化を多角的に説明しながら紹介するスピーチをしようとしている。 自分の都道府県にある魅力的な場所を説明するパラグラフを書こうとしている。	○	○	○	6
	Unit 8 Will we live in a decarbonized society in the future? ・エネルギー構成比を示すグラフについて話し合うことができる。 ・エネルギー構成比を示すグラフを説明するパラグラフを書くことができる。 ・エネルギー構成比を示すグラフについてスピーチをすることができる。	【Type of Paragraph】 グラフ説明型（複数要因） 【Extra Writing】 女性の就労率の年代別グラフの説明			○	○	○	【知】 グラフ説明型（複数要因）のパラグラフの構成やそこで使われる表現を理解し，適切に活用することができる。 【思】 エネルギー構成比を示すグラフについて話し合うことができる。 エネルギー構成比を示すグラフを説明するパラグラフを書くことができる。 エネルギー構成比を示すグラフについてスピーチをすることができる。 女性の就労率の年代別グラフを説明するパラグラフを書くことができる。 【主】 再生可能エネルギーについて，パートナーと短い会話をしようとしている。 エネルギー構成比を示すグラフについて話し合おうとしている。 エネルギー構成比を示すグラフを説明するパラグラフを書こうとしている。 エネルギー構成比を示すグラフについてスピーチをしようとしている。 女性の就労率の年代別グラフを説明するパラグラフを書こうとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○		○	○		1

	Unit 9 Reading e-books or printed books? ・電子教科書と紙の教科書の違いについて話し合うことができる。 ・電子教科書と紙の教科書を対比するパラグラフを書くことができる。 ・電子教科書と紙の教科書の違いについてスピーチをすることができる。	【Type of Paragraph】 比較・対比型（対比） 【Extra Writing】 公共の交通機関と個人の交通手段の対比			○	○	○	【知】 比較・対比型（対比）のパラグラフの構成やそこで使われる表現を理解し，適切に活用することができる。 【思】 電子教科書と紙の教科書の違いについて話し合うことができる。 電子教科書と紙の教科書を対比するパラグラフを書くことができる。 電子教科書と紙の教科書の違いについてスピーチをすることができる。 公共の交通機関と個人の交通手段を対比するパラグラフを書くことができる。 【主】 学習ツールについて，パートナーと短い会話をしようとしている。 電子教科書と紙の教科書の違いについて話し合おうとしている。 電子教科書と紙の教科書を対比するパラグラフを書こうとしている。 電子教科書と紙の教科書の違いについてスピーチをしようとしている。 公共の交通機関と個人の交通手段を対比するパラグラフを書こうとしている。	○	○	○	6
	Unit 10 The way we live together in the same world ・社会的な差別の問題とその解決方法について話し合うことができる。 ・社会的な差別の問題とその解決方法を示すパラグラフを書くことができる。 ・社会的な差別の問題とその解決方法についてスピーチをすることができる。	【Type of Paragraph】 問題解決型 【Extra Writing】 日本におけるジェンダー平等の問題点とその実現方法			○	○	○	【知】問題解決型のパラグラフの構成やそこで使われる表現を理解し，適切に活用することができる。 【思】 社会的な差別の問題とその解決方法について話し合うことができる。 社会的な差別の問題とその解決方法を示すパラグラフを書くことができる。 社会的な差別の問題とその解決方法についてスピーチをすることができる。 日本におけるジェンダー平等の問題点とその実現方法を示すパラグラフを書くことができる。 【主】 差別や誤解の問題について，パートナーと短い会話をしようとしている。 社会的な差別の問題とその解決方法について話し合おうとしている。 社会的な差別の問題とその解決方法を示すパラグラフを書こうとしている。 社会的な差別の問題とその解決方法についてスピーチをしようとしている。 日本におけるジェンダー平等の問題点とその実現方法を示すパラグラフを書こうとしている。	○	○	○	5
	定期考査						○		○	○		1
3学期	共通テスト演習	基本的な問題を正確かつスピーディーに解答できるようになる。またマーク式問題にも対応できるようになる。	○	○			○	定期考査 小テスト 提出物 授業内の取り組み 上記を総合して評価を行う。	○	○	○	10
	個別受験指導	個々の志望校の過去問を中心に問題演習を行い、疑問点に関して質問をすることで理解を深める。この繰り返しにより、解答の正確性を高めていく。	○	○	○	○	○	定期考査 小テスト 提出物 授業内の取り組み 上記を総合して評価を行う。	○	○	○	10 合計 78

小石川中等教育学校 年間授業計画

教科：課題研究　　**科目**：小石川フィロソフィーⅥ　**単位数**：１単位

対象学年組：第６学年 Ａ組～Ｄ組

使用教科書：なし

総合的な学習の時間の目標：

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。

【思考力、判断力、表現力等】国際的な視点で実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て，情報を集め、整理・分析して、根拠を明らかにしてまとめ・表現することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に国際社会に参画しようとする態度を養う。

小石川フィロソフィーⅥの目標：

実社会や実生活の中の様々な事象に関わり、探究的な学習の過程を通して課題を解決するために必要な資質・能力である「課題発見力」「継続的実践力」「創造的思考力」を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究的な学習の過程を通して、課題を発見し、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるようにする。	実社会や実生活の中の様々な事象を、多角的、複合的に捉え、課題を解決するための基本的な力を養うとともに、創造的な力を高める。	探究的な学習の過程を通して、様々な事象や課題に知的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	**A 探究活動の意義と課題の発見** **【知識及び技能】** 探究の意義を理解しようとするとともに、課題の発見に関する技能を身に付けるようにする。 **【思考力、判断力、表現力等】** 課題を設定するための基礎的な力を養う。 **【学びに向かう力、人間性等】** 探究的な学習の過程を通して、様々な事象や課題に知的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとする態度を養う。	**・指導事項** 全体ガイダンス 課題研究活動 論文作成活動 成果の発表 **・教材** 小石川ノート	**【知識・技能】** 探究の意義について理解している。 **【思考・判断・表現】** 課題を設定するための基礎的な力を身に付けている。 **【主体的に学習に取り組む態度】** 様々な事象や課題に知的好奇心をもって向き合い，粘り強く考え行動し，課題の解決に向けて挑戦しようとしている。	○	○	○	14
2学期	**B 課題研究** **【知識及び技能】** 探究の過程を理解しようとするとともに、事象を分析するための基本的な技能を身に付けるようにする。 **【思考力、判断力、表現力等】**	**・指導事項** 課題研究活動（課題発見） 論文作成活動 **・教材** 小石川ノート	**【知識・技能】** 探究の過程について理解し、事象を分析するための基本的な技能を身に付けている。 **【思考・判断・表現】** 課題を多角的、複合的に捉え、課題を解決するための基本的な力を身に付け	○	○	○	15

	課題を設定するための基礎的な力を養う。 **【学びに向かう力、人間性等】** 探究的な学習の過程を通して、様々な事象や課題に知的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとする態度を養う。		ている。 **【主体的に学習に取り組む態度】** 様々な事象や課題に知的好奇心をもって向き合い，粘り強く考え行動し，課題の解決に向けて挑戦しようとしている。				
3学期	**C 探究活動のまとめと発表** 探究した結果をまとめ,発表するための基本的な技能を身に付けるようにする。 **【思考力、判断力、表現力等】** 探究した結果をまとめ,適切に表現するための基礎的な力を養う。 **【学びに向かう力、人間性等】** 探究的な学習の過程を通して、様々な事象や課題に知的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとする態度を養う。	**・指導事項** 論文作成・発表 **・教材** 小石川ノート	**【知識・技能】** 探究した結果をまとめ，発表するための基本的な技能を身に付けている。 **【思考・判断・表現】** 探究した結果をまとめ，適切に表現する力を身に付けている。 **【主体的に学習に取り組む態度】** 様々な事象や課題に知的好奇心をもって向き合い，粘り強く考え行動し，課題の解決に向けて挑戦しようとしている。	○	○	○	10
							合計
							39